

B. 屋内緑化コンクール 緑の取組み部門

日本家庭園芸普及協会会長賞

株式会社グッディ

(受付番号 B-6)

(フリガナ)	ヒトハチノヨロコビカラハジマル、ショクブツトノミライ
取組名称	一鉢の喜びから始まる、植物との未来
所在地	福岡 都・道・府・ 県 福岡 市 ・区・町・村
応募施設	① 公共 2学校 3病院 4老健 5事務所 6商業 7集合住宅 8その他
取組期間	2024年 6月7日 ～2025年 3月24日

○取組の概要 (必須)

近年、植物がもたらす「癒し効果」や「ストレス軽減効果」への関心が高まっています。当社も、レンタルグリーンや植物販売を通じて、日々その力を実感してきました。これまでも、福岡市職員の方や市民の皆様を対象に、グリーンやお花に親しむワークショップを継続的に開催してきましたが、このたび、福岡市で初開催となった「福岡フラワーショー2025」において、行政・企業・市民が一体となり、緑のある社会づくりを目指す目的で【学び】が主体のワークショップを開催しました。今回のワークショップでは取り組みやすく、多くの方に関心を持っていただきやすい「花（パンジー・ビオラ）」をきっかけとし、観葉植物を含む「グリーン」にも興味を広げていただく仕組みづくりを意識して実施しています。花を通じて植物への親近感を高め、さらに日常生活に緑を取り入れるライフスタイルへの誘導を図ることを目指しました。

○取組のシステム (必須)

福岡市と連携し、公共性と信頼性の高いイベント設計を行いました。市民参加型無料ワークショップとして植物を「学ぶ」体験、「知る」機会を提供し、「市民が主体となって植物とふれあい、育てるきっかけをつくる」ことを目的に据え、全体を設計しました。

- ① 育成展示・今回は実際に時間をかけて育成した「個人育種家 パンジー・ビオラ」を70鉢程度展示し、それぞれの特徴を説明。実際の花や形を鑑賞するだけではなく、育種家方の思い、作出秘話などストーリーを深く知ってもらおう試みとして実施。
- ② 参加型体験・コンセプトを【自分のお気に入りの一品が見つかる！】とし、パンジー・ビオラ特有の花色や形状の多様性を体感してもらいました。参加者には展示鉢の中から「推しの一鉢」を選んで投票していただく形式とし、参加型の体験を通じて植物への興味・関心を高める工夫を凝らしました。



○取組の具体的活動内容 (任意)

今回、パンジー・ビオラの展示会においては、以下の取り組みを行いました。まず、全国的に著名な育種家の方を往訪し、育成における苦労、目指す理想像、育成の喜びなどについて、直接お話を伺いました。その内容を基に、来場者に対する説明の順番や伝えるべきポイントを整理し、より理解を深めてもらえるよう構成を行いました。

鉢花の育成にあたって、展示の約4か月前から生育を開始し、開花時期の調整や株のボリュームアップを図りました。育成管理において、花の発色や株の健全性を最大限引き出すために、保水性と通気性に優れた専用培養土を使用し、段階的に肥料設計を見直しながら施肥しました（基肥・追肥ともに緩効性肥料を中心に適切な量とタイミングを管理）。使用した肥料や土の種類、管理方法などは、育成の不安の解消に繋がるよう実際のワークショップで説明しました。また、それぞれの育種家の方の作出したオリジナル資料を配布。来場者が「来てよかった」と感じていただけるよう注力しました。その他、育てやすいアイテムとしてグリーンを紹介し、興味をもっていただきました。



○取組の波及効果 (任意)

今回の展示会は、パンジー・ビオラに深く触れる貴重な機会となり、多くの方に植物の持つ力や、育てる楽しさを体感していただく場となりました。参加者からは「また開催してほしい」「知ることができて嬉しかった」との声が多数寄せられ、展示会を通じて植物への関心が確実に広がったことを実感しています。

また、SDGs が掲げる「すべての人に健康と福祉を（目標3）」、「住み続けられるまちづくりを（目標11）」、「陸の豊かさを守ろう（目標15）」といった目標にも寄与しています。

植物の癒し効果や育成体験を通じて、心身の健康促進、自然との共生意識の醸成、そして持続可能な社会づくりに向けた行動変容の促進へとつながる、意義深い取り組みとなりました。

今回の福岡フラワーショーは、2026年開催予定の第一回本開催に向けたプレイベントとして位置づけられており、今回得られた成果や手応えをもとに、今後さらに活動を継続・発展させていく予定です。

「一鉢の喜びが、緑豊かな未来を育てる」—これが、私たちの挑戦の第一歩です。

